

🎵 出演者 🎵

崎村潤子 (Junko Sakimura)

1988年国立音楽大学器楽学科打楽器専攻卒業。岡田知之・上野信一・鈴木明子氏に師事。NHK FMリサイタル('89)、Radio Western Internationalリサイタル('93)「カナダ」、クロスカルチャー '94「カナダ」等に出演。

その他、ツィムパロンなどで、サントリー・サマー・スペシャル『20世紀の音楽』('91)、第3回世界ツィンパロン・コンGRESS('95) (スロバキアテレビで放映) 等に出演。

1994年から『Marimba Alive! 』 ('94, London, Canada)、
『Marimba Alive! vol.2 』 ('97, 日本 小田もゆる氏と共演) を開催。現在フリー。

斉藤美絵 (Mie Saito)

1988年国立音楽大学器楽学科打楽器専攻に入学。在学中、「安田生命クオリティオブライフ文化財団」より奨学金を授与。卒業時に「武岡賞」を得て卒業。1994年、同大学大学院音楽研究学科器楽専攻打楽器を修了。

打楽器を岡田知之氏、マリimbaを柴田順子、鈴木明子の各氏、ティンパニをP・ゾンダーマン氏に師事。

第8回打楽器新人演奏会にて「優秀賞」を受賞。第10回日本管打楽器コンクール「打楽器部門」にて第1位を受賞。1991年よりPercussion Ensemble OKADA of Japan のメンバーとして、ベルリン、ソフィア、台北、韓国、デンマーク等で公演。

1994年より「斉藤美絵パーカッション・リサイタル～サ・ウ・ン・ド・パ・ズ・ル～」、「斉藤美絵マリimbaコンサート～ガリアからの風～」を開催。

現在、ソロ、室内楽、オーケストラ等で活躍中。ミラクル・パーカッション アンサンブルのメンバー。

佐伯正彦 (Masahiko Saeki)

国立音楽大学打楽器科卒業。打楽器を岡田知之、永曽重光、ティンパニをP・ゾンダーマンの各氏に師事。

岡田知之パーカッションアンサンブルメンバーとして、ドイツ、ブルガリアをはじめ世界9カ国の演奏旅行に参加。

全日本ソリストコンテスト入選。サントリーホールで行われた披露演奏会に出演。

現在、岡田知之パーカッションアンサンブル、Vivid Brass Tokyo、Gtd室内合奏団のメンバー。洗足学園大学打楽器研究所所員。

Marimba.org

<http://www.marimba.org/>

Tonescape Production

010-667-0033

<http://www.vrenpo.com/tonescape/>
tonescape@vrenpo.com

Marimba Alive vol.3

崎村潤子

斉藤美絵

Duo Recital

1997年12月27日(土)

14:30開演

国立市民芸術小ホール

🎧 プログラム 🎧

Dmitri Kabalevsky
『Nine Kabalevsky Pieces』

Jiri Laburda
『Sonata for two Marimbas』

Maurice Ravel
『Alborada del Gracioso』

🎧 Tea Time 🎧

Bill Molenhof
『Busy Signal』
『Song for the New Year』

Rich O'Meara
『Wooden Music』

Wolfgang Roggenkamp
『African Blues』

Bulgarian Folk Dance
『Gankino Choro』

🎧 曲目解説 🎧

Nine Kabalevsky Pieces Dmitri Kabalevsky
Kabalevsky (1904-87) は、ロシアのザンクト・ペテル
スブルグで生まれた、作曲家・音楽学者である。
1925年にモスクワ音楽院に入学し、Nikolai
Miaskovsky の下で作曲を修め、彼自身も音楽院で
1932年から教鞭を執った。代表作には 4 曲の交響曲
とオペラ、協奏曲、映画音楽、そして多くの室内楽及
びピアノ作品がある。

Nine Kabalevsky Pieces は、その彼のピアノ作品より
9 曲を選び、オハイオ出身のマリンバ奏者 Donald
Miller が 2 台のマリンバ用に編曲した物である。それ
ぞれ、「体育館にて Op.14-3」「小さな歌 Op.27-2」
「小トッカータ Op.27-10」「スケルツォ Op.27-13」
「おとぎ話 Op.27-15」「ワルツ Op.39-13」「ギャ
ロップ Op.39-18」「道化師達 Op.39-20」「Novelette
Op.39-22」という題が付いている。

(約10分)

Sonata for two Marimbas Jiri Laburda
Laburdaは1931年に生まれた作曲家で、作品にはこの
曲の他に、「2 台のトランペットとトロンボーンの為
の 6 つのインベンション」「チューバとピアノのため
のソナタ」「トランペットと弦楽合奏のための協奏
曲」などがある。

- i. Allegro deciso, agitato assai
- ii. Lento
- iii. Vivacissimo con molto fuoco – Largo Pastorale

(約13分)

Alborada del Gracioso Maurice Ravel
5 曲からなるピアノ曲集「Mirrors」(1906) は、彼の
書いたピアノ曲の中で最も難しい物の一つである。中
でもAlborada del Gracioso (道化師の朝の歌) は最
難曲であるが、1918年には、彼自身がスペインの香
りの充満するオーケストレーションを施している。

曲は、ギターを模した伴奏の上に、騒々しい急、しみ
じみとした緩、そしてまた急の構成を取るが、今日用
いた Safri Duo による編曲の Studio 4 Production 版の
楽譜には「緩」の部分がない上、あちこち削られてい
るが、本日はそのまま演奏している。

ところで、明日はRavel の60回目の命日である。オー
ケストラ版だったらクリュイタンスとか、ピアノだっ
たらリパッティの名演(どちらもEMIより発売)とか
を聴いて過ごすのも良いかも知れない。

(約3分)

Busy Signal Bill Molenhof

Song for the New Year

Bill Molenhof は1954年に米国で生まれたドイツのマリ
ンバ・ヴィブラフォン奏者で、現在はニューヨークを
ベースにしている。ジャズやフュージョンを得意にし
ており、ライブでのMIDI 打楽器使用のパイオニアでも
ある。オハイオ州立大学やノーザンイリノイ大学など
の客員として、後進の指導にも当たっている。

Busy Signalは、あたかも交差点の信号待ちの風景を切
り取ったような楽しさ、そして Song for the New Year
は、新年を待つ夜の静けさを表したような曲である。
(約6分)

Wooden Music Rich O'Meara

この曲を聴いていると、故郷のアフリカの森を思い出
す。森は様々な鳥や動物達をその胸に抱き、日の出、
朝、昼、夕、日暮れ、更けて行く夜、そして次第に空
を紫に染めて行く暁と、その時間固有の鳴き声を響か
せる。そして、耳をすますと、その向こうに聞こえる
のは、やはり、あたたかい、木自身の声なのである。
(約15分)

African Blues Wolfgang Roggenkamp

この曲の演奏に用いている太鼓は、ジュンベというア
フリカの太鼓である。木をくりぬき、動物の皮を一枚
張った太鼓であり、中央を叩くと低い音がし、縁の方
を叩くと高い音がでる。
(約5分)

Gankino Choro ブルガリア民族舞曲

この曲では、今度はタパンというブルガリアの太鼓が
用いられている。左手に樺の木の枝を持ち、右手には
スプーンの形の木のばちを持って奏でる。奏法により
色々な音色を出すことができるのが特徴である。
(約3分)

(崎村 夏彦)